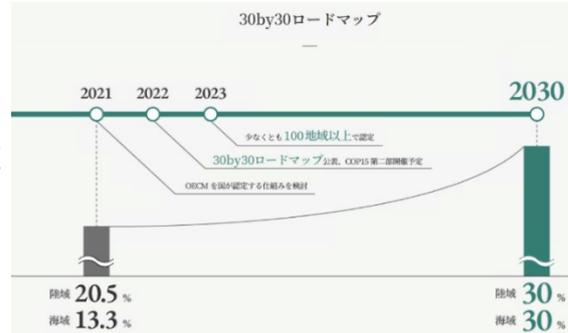


自然共生サイトの認定について

1. 自然共生サイトとは

① 世界の動向

2022年に開催された生物多様性条約第15回締約国会議にて、2030年までに地球上の陸と海のそれぞれ30%以上を保護する『**30 by 30**』が世界目標として盛り込まれた。



出典：環境省ホームページ (<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>)

② 国の動向

生物多様性国家戦略では『30by30』を主要な施策に定め、その達成に向け、環境省は、自治体や企業が保有する公園等について、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する『**自然共生サイト**』制度を令和5年度から開始。

認定区域はOECM（生物多様性保全に資する地域）として国際データベースに登録される。

2. 市の申請及び認定

- (1) サイト名：「国分川調節池緑地 自然ふれあいゾーン、散策・休息ゾーンの一部」
- (2) 申請日：令和6年9月24日（令和6年度後期分に申請）
- (3) 認定日：令和7年3月14日
- (4) 評価概要：希少な動植物種が生育している点や、市民団体による管理が出来る点、地域の中高生と市民団体との協働調査体制を有している点などが評価された。



サイト位置図



認定証